

19万人のひろば



やっち

「i 広報紙」で広報やちよを配信しています

広報やちよをスマートフォン向けアプリケーション「i 広報紙」により無料配信しています。お持ちのスマートフォンやタブレットなどでアプリをダウンロードしてください。



▲ ios 版



▲ Android 版

ありがとうございました

●「社会福祉に役立ててください」と朝日新聞読者の映画館実行委員会様から、2万5,200円の寄付をいただきました。

市民伝言板

- 大人のための英会話・韓国語市民講座 ネイティブ講師と楽しく本格基礎会話。先着15人。6月1日(月)から全10回8,000円。英会話18時～19時15分、韓国語19時30分～20時45分。総合生涯学習プラザ。申し込みは国際文化交流協会・前田☎090-6489-2803へ
- 2015八千代ギターフェスティバル 市内で活動するギター3グループ競演演奏会。出演35人。定員430人。5月9日(土)13時30分～16時30分(13時開場)、市民会館小ホール。同実行委員会・高橋☎484-6128
- 親子体験リトミック リトミックで楽しい音楽の時間を過ごしましょう。5月11日(月)①1歳児親子10時10分～②2・3歳児親子11時～、各回先着10人。要予約。市民会館リハーサル室。500円。高崎☎090-1994-2995(平日20時まで)
- 八千代の里山・谷津田散策初夏編 少年自然の家のヤマツツジ、谷津田野草園のコウホネなどが見ごろ。行程3キロ。5月13日(水)10時～12時、少年自然の家駐車場。100円。八千代自然と環境を考える会・佐藤☎450-8468
- 少女ソフトボール体験教室 小学生の女子で野球やソフトボールをやってみたい人に講習会を行います。

秀明大学に女子水球部が創部 女子水球専用プールも完成

水球とは、7人構成の2つのチームが、プール内で、ゴールにボールを入れあう水中のハンドボールと呼ばれる競技です。

千葉県は、全国的にも水球が盛んで、県内にも12の高校に水球部があり、そのうち女子水球部は3つあります。国内の女子水球人口は1,500人ほどですが、秀明大学ではさらなる選手の育成と水球の普及を目指して今年4月、女子水球部を創部しました。これにあわせて全国初の女子水球専用プールが完成。男子コートに比べ縦5m小さい25m×20mのプールです。観客席はプールに近く、水球の迫力を間近で味わえる設計となっています。また、バリアフリーに配慮し、車イスの人でも容易に移動できます。

今後、水球部の学生たちは10月の日本選手権水泳競技大会(水球競技)の優勝や、2020年開催の東京五輪を目指します。監督に就任した加藤英雄さんは「機動力を生かした『スピード水球』で体格やパワーに勝る欧米の選



▲練習に励む水球女子日本代表チーム

手に負けないようにしたい」と語りました。現在部員は1年生8人ですが、うち3人は国際大会の日本代表メンバー。秀明大学女子水球部キャプテンの鈴木琴莉さんは、「恵まれた環境を与えられた。あとは実績を残すだけ」と決意を新たにしました。今後、このプールでは日本選手権水泳競技大会東日本予選会や、リオデジャネイロオリンピックアジア予選の日本代表強化合宿が予定されています。

日本一の味を求めて

源右衛門祭が開催されました

4月4日・5日、桜の花が舞う総合運動公園多目的広場で源右衛門祭が開催されました。祭の目玉はご存じ日本一の鍋となった直径2メートルの大鍋「源右衛門鍋」で作る豚汁。今年1月に埼玉県和光市で開催された、「ニッポン全国鍋グランプリ2015」で優勝を果たした、もちふた炙りチャーシューバージョンとん汁を求め、販売のテントの前には長蛇の列ができました。多数の出店や、和太鼓や、市内中学校吹奏楽部の演奏などで会場は賑わいました。この日は、新川の一斉清掃が早朝から行われ、関係団体などを含め264人の参加があり、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源物など合わせて250kgを回収しました。



▲とん汁を求めて最大15分待ちの長い行列ができました



リサイクル・ガイド
消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで(午後4時～5時は☎483-1151)へ。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。
【あげます】▶ホームベーカリー(ツインバード製、2斤まで、餅つき可能)▶ベッド用マットレス(フランスベッド製、シングル)／厚さ18cm×幅68cm×縦228cm▶健康器具(室内用自転車)▶ベビーベッド▶ハイ&ローチェア▶製図版(ムトーのドラフター、脚付き)
【ゆずって・有料】▶高津中学校女子制服(上下、夏服・冬服)▶農耕用鍬(ほこ先4本で長さ30cm位)
◆市役所1階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また同センターでは、食品の放射性物質検査(予約制)も行っています。

卒業生乗り換え駅の別れかな
蟻穴を出て彷徨の始まり
梅の香に命ふくらむ思ひかな
春泥の靴を恥じをり美容室
校門を礼服通る花吹雪
畔焼くや獣のごとく火の這ひて
新聞を読み終ふまでの牡丹雪
芝居跳ねうつすら積もる春の雪
鎌の手を休めし先の藤の房
一坪の畑打つ男の白髪かな
真青なる空つき破り風あがる
童咲き公民館に句を学ぶ
先生の指揮棒見つめ卒業歌
競漕のかけ声高く去り行けり
やはらかき日差しの中の柳かな
石段のはじめの一步梅かおる
手提げより少しはみ出す菜花かな

八千代台北 村上 田上 芳弘
八千代台北 大島 宏
上野 利守 富士子
勝田 手代木 敬子
大和田 青木 滋
村上 岡 澄雄
勝田 小泉 惇子
大和田 内池 幸子
上野 吉田 四郎
勝田 草野 純子
大和田 三橋 昇
村上 熊谷 文男
八千代台西 浜西 幸子
緑が丘 六戸 光子
八千代台南 豊永 草湯 純子

選評 一句目、三月は別れの季節。卒業式を終えた生徒達。慣れ親しんだ友人との別れは淋しく辛い。「乗り換え駅」が巧みだ。もう会えない友も居る。(卒業のひとり横向く写真かなー大橋桜坡子)二句目、啓蟄には様ざまな虫が這い出る。蟻も出て来たもののまだ餌は少なく、うろうろとさまよっている。これが一生を働き通す蟻の一步なのかと思つた作者の遺瀨無気持が伝わる。三句目、冬の寒さに身の縮む思いで過ごして来たが、ふと流れて来た梅の花の香りに心身ともに固さがほぐれた。やはり春なのだ。「命ふくらむ思ひ」は生きる喜びを表現して共感する。

やちよ俳壇

509回

小林希世子選

広報やちよは、市ホームページでも見ることができます(PDF版)